



- 特集 1 防衛この1年 001
- 特集 2 新たな領域 — 宇宙・サイバー・電磁波 — 011
- 特集 3 防衛白書50年の歩み 013

- ダイジェスト 本文第I部～第IV部の要約版として24ページにわたって説明しています。 015

第I部

わが国を取り巻く安全保障環境

第1章 概観

- 1 現在の安全保障環境の特徴 41
- 2 わが国周辺の安全保障環境 42

第2章 諸外国の防衛政策など

- 第1節 米国 45
 - 1 安全保障・国防政策 45
 - 2 軍事態勢 53
- 第2節 中国 56
 - 1 全般 56
 - 2 軍事 57
 - 3 対外関係など 80
 - 4 台湾の軍事力など 86
- 第3節 朝鮮半島 90
 - 1 北朝鮮 91
 - 2 韓国・在韓米軍 109
- 第4節 ロシア 113
 - 1 全般 113
 - 2 安全保障・国防政策 114
 - 3 軍事態勢と動向 115
 - 4 わが国の周辺のロシア軍 120
 - 5 北方領土におけるロシア軍 122
 - 6 対外関係 123
- 第5節 大洋州 129
 - 1 オーストラリア 129
 - 2 ニュージーランド 132
- 第6節 東南アジア 134
 - 1 全般 134
 - 2 各国の安全保障・国防政策 134
 - 3 各国の軍の近代化 140
 - 4 地域内外における協力 141
- 第7節 南アジア 142
 - 1 インド 142
 - 2 パキスタン 144
 - 3 カシミア地方の帰属をめぐるインドとパキスタンとの対立 145
- 第8節 欧州 146
 - 1 全般 146
 - 2 多国間の安全保障の枠組みの強化 146
 - 3 欧州各国の安全保障・防衛政策 149
- 第9節 その他の地域（中東・北アフリカを中心に） 153
 - 1 全般 153
 - 2 湾岸地域情勢 153
 - 3 中東和平をめぐる情勢 156
 - 4 シリア情勢 156
 - 5 イエメン情勢 157
 - 6 リビア情勢 158
 - 7 エジプト情勢 159
 - 8 アフガニスタン情勢 159
 - 9 南スーダン情勢 160
 - 10 ソマリア情勢 161

第3章 宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域をめぐる動向・国際社会の課題

- 第1節 軍事科学技術をめぐる動向 163
 - 1 軍事科学技術の動向 163
 - 2 防衛技術・産業基盤をめぐる動向 167
- 第2節 宇宙領域をめぐる動向 169
 - 1 宇宙領域と安全保障 169
 - 2 宇宙空間に関する各国の取組 170
- 第3節 サイバー領域をめぐる動向 174
 - 1 サイバー空間と安全保障 174
 - 2 サイバー空間における脅威の動向 174
 - 3 サイバー空間における脅威に対する取組 177
- 第4節 電磁波領域をめぐる動向 180
 - 1 電磁波領域と安全保障 180
 - 2 電子戦に関する各国の取組 181
- 第5節 新型コロナウイルス感染症をめぐる動向 183

- 第6節 海洋をめぐる動向 186
 - 1 「公海自由の原則」をめぐる動向 186
 - 2 海洋安全保障をめぐる各国の取組 187
 - 3 北極海をめぐる動向 189
- 第7節 大量破壊兵器の移転・拡散 191
 - 1 核兵器 191
 - 2 生物・化学兵器 192
 - 3 弾道ミサイルなど 193
 - 4 大量破壊兵器などの移転・拡散の懸念の拡大 193
- 第8節 国際テロリズムの動向 195
 - 1 全般 195
 - 2 ISIL系国際テロ組織の動向 195
 - 3 ISIL系国際テロ組織以外の動向 197

第II部

わが国の安全保障・防衛政策

第1章 わが国の安全保障と防衛の基本的考え方

- 第1節 わが国の安全保障を確保する方策 199
- 第2節 憲法と防衛政策の基本 200
 - 1 憲法と自衛権 200
 - 2 憲法第9条の趣旨についての政府見解 200
 - 3 基本政策 202

第2章 わが国の安全保障と防衛を担う組織

- 第1節 国家安全保障会議 204
- 第2節 防衛省・自衛隊の組織 205
 - 1 防衛力を支える組織 205
 - 2 自衛隊の統合運用体制 211

第3章 わが国の安全保障と防衛に関する政策

- 第1節 国家安全保障戦略の概要 213
 - 1 わが国の国家安全保障政策の体系 213
 - 2 国家安全保障戦略の概要 — 積極的平和主義 — 213
- 第2節 防衛計画の大綱の概要 215
 - 1 基本的な考え方—多次元統合防衛力の構築— 215
 - 2 わが国の防衛の基本方針 216
 - 3 防衛力強化にあたっての優先事項 217
 - 4 自衛隊の体制など 217
 - 5 防衛力を支える要素 220
- 第3節 中期防衛力整備計画（令和元年度～令和5年度）の概要 221
 - 1 計画の方針 221
 - 2 整備規模 222
 - 3 所要経費 222

第4章 防衛力整備など

- 第1節 令和2年度の防衛力整備 224
- 第2節 防衛関係費 226
 - 1 防衛関係費の概要 226
 - 2 防衛関係費の内訳 226
 - 3 効率化への取組 229
 - 4 各国との比較 229

第5章 自衛隊の行動などに関する枠組みと平和安全法制施行後の自衛隊の活動状況など

- 第1節 自衛隊の行動などに関する枠組み 231
 - 1 武力攻撃事態等及び存立危機事態における対応 231
 - 2 重要影響事態への対応 233
 - 3 公共の秩序の維持や武力攻撃に至らない侵害への対処など 234
 - 4 災害派遣など 236
 - 5 国際社会の平和と安定への貢献に関する枠組み 236
- 第2節 平和安全法制施行後の自衛隊の活動状況など 239
 - 1 平和安全法制に基づく新たな任務に向けた各種準備の推進など 239
 - 2 多国籍部隊・監視団（MFO）への司令部要員派遣 239
 - 3 米軍等の部隊の武器等防護（自衛隊法第95条の2） 240
 - 4 新たな日米物品役務相互提供協定（ACSA）などの締結 241
 - 5 南スーダンPKOにおける新たな任務の付与 241

自衛官の仕事内容、「世界で活躍する自衛官」、「日本で活躍する自衛官」、主な広報施設、各種イベント、主要装備品などについて紹介しています。

Ⅲ 部 わが国防衛の三つの柱 (防衛の目標を達成するための手段)

第1章 わが国自身の防衛体制

第1節	平時からグレーゾーンの事態への対応	243
1	わが国周辺における常統監視	244
2	わが国の主権を侵害する行為に対する措置	247
第2節	島嶼部を含むわが国に対する攻撃への対応	252
1	島嶼部に対する攻撃への対応	252
2	ミサイル攻撃などへの対応	255
3	ゲリラや特殊部隊による攻撃などへの対応	262
4	侵略事態への備え	264
5	国民保護に関する取組	265
第3節	宇宙・サイバー・電磁波の領域での対応	266
1	宇宙領域での対応	266
2	サイバー領域での対応	270
3	電磁波領域での対応	273
第4節	新型コロナウイルス感染拡大を受けた防衛省・自衛隊の取組	275
1	武漢からのチャーター機への看護官派遣	275
2	新型コロナウイルス感染症に対する災害派遣	275
3	自衛隊病院などにおける取組	278
4	国内外に向けた情報の発信・共有に向けた取組	280
5	防衛省・自衛隊における新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組	281
6	その他の取組	281
第5節	大規模災害などへの対応	282
1	大規模災害などへの対応	282
2	在外邦人等の保護措置及び輸送への対応	290
第6節	中東地域における日本関係船舶の安全確保のための情報収集	292
1	中東地域への自衛隊派遣に向けた経緯	292
2	「中東地域における日本関係船舶の安全確保に関する政府の取組について」(閣議決定)の概要	293
3	関係国との意思疎通や連携	296

第2章 日米同盟

第1節	日米安全保障体制の概要	299
1	日米安全保障体制の意義	299
2	同盟強化の経緯	301
3	「日米防衛協力のための指針」(ガイドラインの内容)	302
4	日米間の政策協議	306
第2節	日米同盟の抑止力及び対処力の強化	309
1	宇宙領域やサイバー領域等における協力	309
2	総合ミサイル防空	310
3	共同訓練・演習	310
4	情報収集・警戒監視・偵察 (ISR) 活動	312
5	海洋安全保障	312
6	後方支援	312
7	わが国における大規模災害への対処における協力	313
第3節	幅広い分野における協力の強化・拡大	314
1	望ましい安全保障環境の創出	314
2	能力発揮のための取組	315
第4節	在日米軍駐留に関する施策の着実な実施	317
1	在日米軍の駐留	317
2	在日米軍再編の進捗状況	320
3	沖縄における在日米軍の駐留	320
4	沖縄を除く地域における在日米軍の駐留	336
5	在日米軍再編を促進するための取組	340

第3章 安全保障協力

第1節	多角的・多層的な安全保障協力の戦略的な推進に向けて	341
1	安全保障協力・対話、防衛協力・交流の意義と変遷など	341
2	各国との防衛協力・交流の推進	346
3	多国間における安全保障協力の推進	373
4	能力構築支援への積極的かつ戦略的な取組	380
第2節	海洋安全保障の確保	383
1	海洋安全保障の確保に向けた取組	383
2	海賊対処への取組	383
3	訓練などを通じた取組	387
4	海洋安全保障にかかる協力	387
第3節	宇宙領域及びサイバー領域の利用にかかる協力	388
1	宇宙領域の利用にかかる協力	388
2	サイバー領域の利用にかかる協力	388
第4節	軍備管理・軍縮及び不拡散への取組	390
1	軍備管理・軍縮・不拡散関連条約などへの取組	390
2	大量破壊兵器の不拡散などのための国際的な取組	391
第5節	国際平和協力活動への取組	393
1	国際平和協力活動の枠組みなど	393
2	国連平和維持活動などへの取組	394
3	国際緊急援助活動への取組	400

Ⅳ 部 防衛力を構成する中心的な要素など

第1章 防衛力を支える人的基盤

第1節	人的基盤の強化	403
1	募集・採用	403
2	日々の教育訓練	408
3	人的資源の効果的な活用に向けた施策など	408
第2節	ワークライフバランス・女性の活躍の更なる推進	416
1	働き方改革	416
2	育児・介護などと両立して活躍できるための改革	417
3	女性職員の活躍推進のための改革	418

第2章 防衛装備・技術に関する諸施策

第1節	装備体系の見直し	422
1	合理的な装備体系の構築のための取組	422
2	限られた人材を最大限有効に活用するための取組(無人化・省人化)	423
第2節	技術基盤の強化	424
1	技術基盤の強化の必要性	424
2	防衛技術戦略など	424
3	研究開発に関する取組	426
4	民生技術の積極的な活用	427
第3節	装備調達最適化	430
1	ライフサイクルを通じたプロジェクト管理	430
2	契約制度などの改善	431
3	調達の効率化に向けた取組など	433
4	FMS調達の合理化に向けた取組の推進	434
第4節	産業基盤の強靱化	435
1	わが国の防衛産業基盤の現状	435
2	防衛生産・技術基盤戦略	436
3	産業基盤の強靱化に向けた取組	436
第5節	防衛装備・技術協力	440
1	防衛装備移転三原則	440
2	米国との防衛装備・技術協力関係の深化	441
3	新たな防衛装備・技術協力の構築	442
4	部外転用	446
5	国際防衛装備品展示会への出展	446
6	防衛装備品の適切な海外移転に向けた官民連携	447
7	装備品にかかる重要技術の流出防止	447

第3章 情報機能の強化

1	軍事情報の収集	448
2	情報機能の強化に向けた取組	450
3	情報本部	450

第4章 防衛力を支える要素

第1節	自衛隊の訓練	451
1	各自衛隊の訓練・演習	451
2	訓練環境	451
3	安全管理への取組など	452
第2節	衛生機能の強化	453
1	シームレスな医療・後送態勢の強化	453
2	自衛隊病院の拠点化・高機能化	453
3	防衛医科大学校の機能強化	455
4	医官・看護官などの確保・育成	455
5	戦傷医療対処能力の向上	455
6	国際協力に必要な態勢の整備	456

第5章 地域社会・国民とのかかわり

第1節	地域コミュニティとの連携	457
1	民生支援活動	457
2	地方公共団体などによる自衛隊への協力	457
3	地方公共団体及び地域住民の理解・協力を確保するための施策	458
4	防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策	458
5	国家行事への参加	463
6	東京オリンピック・パラリンピック競技大会への取組	464
7	その他の取組	466
第2節	情報発信や公文書管理・情報公開など	468
1	様々な広報活動	468
2	公文書管理・情報公開に関する取組	471
3	政策評価などに関する取組	471

コラム

第I部

第2章 諸外国の防衛政策など

解説 宇宙軍の創設……………54

解説 中台軍事バランスの変化……………88

解説 北朝鮮の核・ミサイル能力(核兵器の小型化、弾頭化技術の現状を踏まえ)… 104

解説 ロシアと中国の軍事協力の動向……………124

第3章 宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域をめぐる動向・国際社会の課題

解説 有人機と無人機の協調技術について……………165

第II部

第2章 わが国の安全保障と防衛を担う組織

解説 自衛隊の任務について……………212

第3章 わが国の安全保障と防衛に関する政策

解説 F-35B 戦闘機の取得……………223

第4章 防衛力整備など

解説 令和2年度の防衛力整備における宇宙・サイバー・電磁波の領域に関する能力強化……………224

第III部

第1章 わが国自身の防衛体制

VOICE 警戒監視にあたる固定翼哨戒機搭乗員の声……………247

解説 対領空侵犯措置について……………250

VOICE 新任地、宮古警備隊で勤務して……………255

VOICE JAXA 派遣要員としての活動について……………269

VOICE 自衛官と共に新型コロナウイルスと闘った民間船長……………277

解説 [見えない敵(新型コロナウイルス)との戦い]〜二次感染者ゼロの達成〜… 278

VOICE 新型コロナウイルス感染症への対応……………279

解説 ドイツ人ご夫妻からの感謝状の紹介……………280

解説 防衛省・自衛隊(災害対策)公式ツイッターアカウント開始… 283

解説 災害時の現状を伝える災害用ドローンの活用……………285

解説 食物アレルギーに配慮した給食支援……………286

VOICE 令和元年房総半島台風(台風第15号) 災害派遣に伴う東京電力での活動について……………287

災害派遣に参加して……………288

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う災害派遣活動に参加して… 288

VOICE 中東地域における情報収集活動に従事して……………296

VOICE 中東地域における情報収集活動に対する関係業界の反応… 297

第2章 日米同盟

VOICE 多次元にわたる日米共同対処能力の向上……………310

VOICE マラパル2019に参加して……………315

第3章 安全保障協力

VOICE 日印共同訓練「シンユウ・マイトゥリ19」に参加した隊員の声… 350

VOICE 「ビエンチャン・ビジョン2.0」の発表と、ビジョン作成に携わった職員の声……………351

VOICE フィリピン軍の災害対処能力の向上を……………354

VOICE 中国人民解放軍海軍成立70周年記念国際観艦式に参加した隊員の声… 366

VOICE 防衛省政務として初となる副大臣の太平洋島嶼国出張と、それを支えた職員の声……………369

VOICE ラオス人民軍に対する能力構築支援事業に参加した隊員の声… 382

VOICE 国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト(RDEC)(現国連三角パートナーシップ・プロジェクト(UNTPP))に従事した自衛官の声……………398

VOICE オーストラリアで発生した大規模な森林火災に対する国際緊急援助活動に携わった隊員の声……………401

第IV部

第1章 防衛力を支える人的基盤

VOICE 活躍する予備自衛官とその雇用主の声……………406

VOICE 国内外の大学院などで学ぶ自衛官の声……………409

解説 陸上自衛隊の非常用糧食について……………410

解説 防衛功労章及び部隊功績貢献章について……………410

VOICE 再就職した隊員及び雇用主の声……………413

VOICE イクメンの声……………417

VOICE 女性隊員の活躍……………420

第2章 防衛装備・技術に関する諸施策

解説 次期戦闘機の開発について……………427

VOICE 防衛力整備を支える防衛産業……………439

第3章 情報機能の強化

VOICE 各国防衛駐在官の声……………449

第5章 地域社会・国民とのかかわり

解説 国民の安全・安心に寄与“不発弾処理”……………458

解説 PFOS等をめぐる問題への取組について……………463

VOICE 国家行事(即位礼正殿の儀)での儀礼(礼砲)……………464

VOICE 聖火到着式を終えて……………465

解説 小型無人機等飛行禁止法について……………467

VOICE 令和元年版防衛白書感想文コンクールの実施について……………469

凡例

●本書の文中において、次の用語について、それぞれ次の略称を用いたほか、適宜ほかの用語についても略称を用いているところがあります。(一部説明の都合上、正式名称としている場合があります。)

- 1. 防衛事務次官 → 事務次官
- 2. 統合幕僚長 → 統幕長
- 3. 陸上幕僚長 → 陸幕長
- 4. 海上幕僚長 → 海幕長
- 5. 航空幕僚長 → 空幕長
- 6. 陸上自衛隊 → 陸自
- 7. 海上自衛隊 → 海自
- 8. 航空自衛隊 → 空自
- 9. 統合幕僚監部 → 統幕
- 10. 陸上幕僚監部 → 陸幕
- 11. 海上幕僚監部 → 海幕
- 12. 航空幕僚監部 → 空幕
- 13. 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約 → 日米安保条約
- 14. 国際連合 → 国連
- 15. 国連安全保障理事会 → 国連安保理

●本書に掲載している地図は、デザイン、レイアウトに応じて省略などを施しており、必ずしもわが国の領土の全てを含んでいない場合があります。

本書の記述対象期間は、原則として令和2年3月末までです。

DEFENSE OF JAPAN 2020

防衛省・自衛隊公式SNSのご案内

安全保障政策などに興味のある方は、下記のリンクにアクセスいただきますと、各機関の研究成果物などを閲覧することができます。



防衛省公式アカウント▶



防衛省公式アカウント▶



防衛省公式チャンネル▶



その他、防衛省・自衛隊の公式SNSはこちらからチェック!▶



令和2年版防衛白書読書感想文を募集しています

令和2年版防衛白書感想文コンクールの実施について

昨年と同様、本白書の感想文コンクールを実施することといたしました。多くの皆さまからの本白書に関する感想をお待ちしております。

募集要領は以下のとおりです。防衛省HPもご覧ください。

対象図書 令和2年版防衛白書

応募締切日 令和2年12月31日(木)
(郵送による提出の場合は、当日消印有効)

応募方法

表彰

(1) 郵送による提出

- 400字詰め原稿用紙(5枚以内)に、感想文本文のみを記述
- 別紙(様式自由)に、以下の内容を記載
 - 感想文の題名 ○ 住所 ○ 氏名・ふりがな
 - 職業 ○ 年齢 ○ 電話番号 ○ メールアドレス
- 以上2点を以下の宛先に郵送
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省 大臣官房企画評価課 防衛白書感想文係

以下の賞に該当する作品を選定し、令和3年3月中に防衛省本省において表彰する予定です。

(2) 防衛省ホームページからの提出

- 様式をダウンロードし、感想文本文(2,000字以内)を記述
- 応募フォームより感想文本文をアップロードし、必要事項を入力した上で送信

- 最優秀賞
賞状、副賞(富士総合火力演習・自衛隊音楽まつりの各ペア券、防衛副大臣チャレンジコイン)を贈呈
- 優秀賞
賞状、副賞(富士総合火力演習・自衛隊音楽まつりのうち1種類のペア券)を贈呈

詳しくは、第IV部(P.470)をご覧ください!